



JIS A 6919

内装上塗り既調合しっくい

JTCCM

認証番号 TC0321005

※「漆喰くるむ内-白」は、一般財団法人建材試験センターによるJISマーク表示製品認証に係る適合性評価の結果、2023年2月13日付でJIS A 6919内装上塗り既調合しっくいのJIS マーク表示認証を取得しました。

ホルムアルデヒド発散建筑材料規制対象外



SHIKKUI
KURUMU-UCHI

消臭

防カビ

調湿性

明光性

不燃

安全・安心 すぐれた機能

内装上塗り用漆喰

漆喰くるむ[®]内

SHIKKUI KURUMU-UCHI

カラーラインナップ

スタンダードカラー



内-白 (N-95)

内-4 (19-85A)

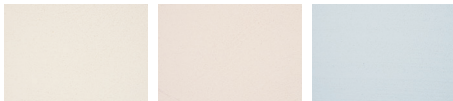
内-7 (25-90A)



内-2 (25-92B)

内-5 (22-90B)

内-8 (19-90A)



内-3 (19-92B)

内-6 (17-90B)

内-9 (65-90A)

ナチュラルカラー



内-10 (H05-92B)

内-13 (H25-92B)

内-16 (H22-90A)

内-19 (H45-90B)

内-22 (H65-90D)

内-25 (HN-72)



内-11 (H12-90D)

内-14 (H25-90D)

内-17 (H25-85C)

内-20 (H45-90D)

内-23 (H65-80H)

内-26 (HN-65)



内-12 (H12-80H)

内-15 (H22-90H)

内-18 (H25-80C)

内-21 (H39-80H)

内-24 (H67-70L)

内-27 (HN-55)

上記カラーは印刷のため、実際の色調と異なります。採用の際は、実際の色見本帳をご確認ください。

漆喰くるむ 内は自然素材のため、多少の色幅があり、施工下地・仕上がり方により色・表情が多少異なります。カラー名表示下()内の内番号は、日塗工近似色番号です。

JISマーク表示認証製品は「内-白」となります。その他のカラーは対象外です。

標準仕様										
商品名	用 途	適用部位	標準塗り厚	適応下地	石膏プラスターボード せつこうプラスター ビニールクロス 合 板	下塗り	マルチベース	荷姿・性状	施工面積	正 味
漆喰くるむ 内	内装上塗り用漆喰	内 壁 ・ 天 井※	約1.0mm				NP-α/漆喰くるむ専用ベース材	ペースト (プラスチック缶) ⊕ 顔料® (ボトル缶)	約12㎡/缶	ペースト18kg

施工についての詳細は裏面と施工要領書をご確認ください。※天井がビニールクロスの場合は剥がしてから施工してください。

※カラー名 内-白に顔料はつきません。

石膏プラスターボード下地の施工方法

ベベルエッジボード、テーバーエッジボードを使用する場合

事前の確認

石膏プラスターボードの貼り方が万全でないと、継ぎ目からひび割れの発生する恐れがあるため、ボードが正しく貼られているか事前に確認してください。その後、石膏プラスターボード表面のほこり・汚れ等を除去し、健全な下地としてください。



1 マルチベースで目地処理・下塗り

マルチベース1袋(20kg)に対して清水6.5ℓを入れ、ハンドミキサーで攪拌してください。石膏プラスターボードの継ぎ目にマルチベースをしっかりと埋め込んだ後、ファイバーテープを貼り付けてください。さらにその上にマルチベースをこすり付けるように塗り付け、ファイバーテープとなじませてください。また、石膏プラスターボードに打ち込んだ釘頭にも、マルチベースをこすり付けるように塗り付けてください。

目地処理後、2時間以上おいてから、下塗りが可能です。

マルチベース1袋(20kg)に対して清水7.5ℓを入れ、ハンドミキサーで攪拌してください。マルチベースで下ごすりをを行い、追っかけで所定の塗り厚まで塗り付けてください。その後、水引きを見て金コテで平滑に押さえてください。※下塗りが完全に乾いたことを確認後、くるむ内による上塗りを行ってください。※出隅等で、石膏プラスターボードの切断面が露出した場合は、NPシーラック3倍液(NPシーラック1:2清水)を塗布して乾燥させてください。

2 液体顔料練り混ぜ・上塗り

漆喰くるむ 内1缶に対して、所定の液体顔料1本を入れ、ハンドミキサーで攪拌してください。液体顔料が均一に混ざるように、混ぜながら顔料を入れ、缶の上部から下部まで満遍なく攪拌してください。

(カラー名:内・白の場合)

(カラー名:内・白以外の場合)



液体顔料との
練り混ぜなし



漆喰くるむ 内1缶 に 液体顔料1本
ハンドミキサーで攪拌し、
均一に混ぜる

漆喰くるむ 内で下ごすりを行った後、水引きを見て仕上げ塗りを行ってください。また、必要に応じて、パターン付けを行ってください。

ビニールクロス下地の施工方法

下地の処理 事前に下地表面のほこり・汚れを除去してください。

1 液体顔料練り混ぜ・上塗り

漆喰くるむ 内1缶に対して、所定の液体顔料1本を入れ、ハンドミキサーで攪拌してください。液体顔料が均一に混ざるように、混ぜながら顔料を入れ、缶の上部から下部まで満遍なく攪拌してください。

(カラー名:内・白の場合)

(カラー名:内・白以外の場合)



液体顔料との
練り混ぜなし



漆喰くるむ 内1缶 に 液体顔料1本
ハンドミキサーで攪拌し、
均一に混ぜる

漆喰くるむ 内で下ごすりを行った後、水引きをみて上塗りを行ってください。また、必要に応じて、パターン付けを行ってください。

せっこうプラスター下地の施工方法

1 下地の清掃・シーラー塗布

表面のほこり・汚れを除去した後、NPシーラック3倍液(NPシーラック1:2清水)を刷毛等で下地面全面にムラなく塗布し乾燥させてください。

2 液体顔料練り混ぜ・上塗り

漆喰くるむ 内1缶に対して、所定の液体顔料1本を入れ、ハンドミキサーで攪拌してください。液体顔料が均一に混ざるように、混ぜながら顔料を入れ、缶の上部から下部まで満遍なく攪拌してください。



(カラー名:内・白の場合)

液体顔料との
練り混ぜなし



(カラー名:内・白以外の場合)

漆喰くるむ 内1缶 に 液体顔料1本
ハンドミキサーで攪拌し、
均一に混ぜる

漆喰くるむ 内で下ごすりを行った後、水引きをみて上塗りを行ってください。また、必要に応じて、パターン付けを行ってください。

合板下地の施工方法

合板の貼り方が万全でないと、継ぎ目からひび割れが発生する恐れがあるため、合板が正しく貼られているか事前に確認してください。合板表面のほこり・汚れ等を除去し、健全な下地としてください。

1 アク止め処理

合板の継ぎ目・出隅・入隅にファイバーテープを貼り付けてください。その後、合板全面にウルトラナノ浸透プライマーを原液のまま刷毛やローラー等で下地面全面にムラなく塗布し乾燥させてください。※アク止めを目的としているため、必ず2回塗布してください。(合板の種類によっては3回塗布が必要な場合があります。)

2 NP-α/漆喰くるむ専用ベース材で下塗り

漆喰くるむ専用ベース材を使用する場合は、1袋(20kg)に対して清水4.4~4.8ℓを入れハンドミキサーで攪拌してください。合板全面にNP-α(アルファ)/漆喰くるむ専用ベース材で下ごすりを行い、追っかけで所定の塗り厚まで塗り付けて平滑にしてください。

3 液体顔料練り混ぜ・上塗り

漆喰くるむ 内1缶に対して、所定の液体顔料1本を入れ、ハンドミキサーで攪拌してください。液体顔料が均一に混ざるように、混ぜながら顔料を入れ、缶の上部から下部まで満遍なく攪拌してください。



(カラー名:内・白の場合)

液体顔料との
練り混ぜなし



(カラー名:内・白以外の場合)

漆喰くるむ 内1缶 に 液体顔料1本
ハンドミキサーで攪拌し、
均一に混ぜる

下塗りを塗り付けた翌日以降、漆喰くるむ 内で下ごすりを行った後、水引きをみて上塗りを行ってください。また、必要に応じて、パターン付けを行ってください。

【養生について】施工後は、窓を開けるなど、できるだけ通風に心がけてください。扇風機等を回すと乾燥が促進され、乾燥の遅い場合に有効です。

注意事項

施工後、強い風を塗り付け面に直接当たると、ひび割れが発生しやすくなるので注意してください。施工の詳細は、漆喰くるむ 内の施工要領書をご確認ください。カラーボトル内の顔料は、可能な限り使い切ってください。顔料はボトル内に付着することを想定した量が入っています。水と混ぜながらの取り出しは絶対にしないでください。

JIS A 6919(内装上塗り既調合しゅく)による試験結果

試験項目	漆喰くるむ 内	品質基準
保水性(%)	81	34以上
初期ひび割れ抵抗性	ひび割れなし	ひび割れないこと
付着強さ(N/mm ²)	0.28(基板破壊)	0.10以上

試験機関: (財) 建材試験センター

施工上のご注意

■気温が5℃以下および35℃以上の場合は、施工を見合わせてください。■本製品保管の際は凍結厳禁です。一度凍結したものは使用できません。■保管は、凍結・直射日光を避け換気の良い屋内で保管してください。また材料が余った場合は、表面が空気に触れないように付属のラップフィルムを余った材料の上に重ね、容器を密封してください。■本製品は既調合品であるため、水を足しての練り直しは絶対に行わないでください。■顔料と練り混ぜた材料は、1時間以内に使用してください。(蓋等をして材料が空気に触れない状態であれば、練り置きは可能です)■施工前には必ず試し塗りを行い、パターンの付け方、仕上がり、および、乾燥具合の確認を行ってください。■本製品は自然素材です。塗布方法、気象条件、製造ロットなどによっては、若干色差の出る場合があります。■冬期・梅雨期など、気温が低く、湿度が高い条件では白華現象が生じやすいため、シート養生など適切な処置を必ず行ってください。■極端にパターンに凹凸がある場合、また気温・湿度・風などの施工環境によっては、ひび割れが発生する恐れがあるため注意してください。■製造年月日を確認し、製造日から12カ月以上のものは使用しないでください。

漆喰くるむ内は、ホルムアルデヒド発散建材を定める告示(H14国交告第1113号、1114号、1115号)には該当しない建築材料です。

告示対象建築材料以外の建築材料については、シックハウス対策に係る規制を受けることなく使用することができます。

漆喰くるむ内は、不燃材料を定める告示(H12国交告第1400号(最終改正H16国交告第1178号))のしゅくに該当します。



日本プラスター株式会社

本社・工場/〒327-0311 栃木県佐野市多田町188-2
TEL:0283-62-6511(代) FAX:0283-62-8851

東京営業所/〒110-0015 東京都台東区東上野3-38-4
TEL:03-3831-3239(代) FAX:03-3835-2048

西日本営業所/〒604-8305 京都府京都市中京区市之町170
TEL:075-406-5031(代) FAX:075-406-5032